

「いかのおすし」で身を守る！

6月17日（月）、館林警察署から、スクールサポーターと警察官2名をお迎えして、防犯避難訓練を実施しました。

第1部の防犯編では、教職員による不審者への対応訓練と児童の避難訓練を行いました。訓練後、警察官から教職員へ、さすまたの有効な扱い方についての指導をいただくとともに、110番通報から警察官が現場に到着するまでの時間は、全国平均で8分半くらいだそうで、教職員はその間、不審者と対峙しなければならないことを意識しておく必要がある。また、刃物等を所持している不審者へは、凶器となるものをたたき落とすなどの対応も必要だ、とご指導いただきました。

第2部の声かけ編では、不審者による児童への声かけに対する対応訓練を行いました。訓練後、児童はそれぞれの教室に戻り、オンラインで、おかしいなと思ったら、「防犯ブザーを鳴らす」「大きな声を出す」「大人に助けを求める」「近くの家やお店などに逃げる」「全力で20m以上逃げる」など、スクールサポーターからご指導いただきました。さらに、「いかのおすし」をしっかりと守ろう、と一つ一つの文字の意味を丁寧に教えていただきました。

